

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の 目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月6日実施)	総合評価 (3月22日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	○主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践とそ のための授業改善を行う。 ○児童・生徒一人ひとりの ニーズにあわせた教育を行 う。 ○カリキュラムマネジメン トの視点を踏まえ、教育課 程の編成に取組む。	① 「主体的・対 話的で深い学び」 の本校の捉えに基 づき、教育活動に 反映させる。  ②障害に応じた ICT 機器の活用によ り、個に応じた教 育内容を充実させ る。	① 具体的な視点 の整理、指導案書 式を用いた学習活 動、授業改善を行 う。  ②視線入力装置、 iPad等のICT機器 を活用する。	① 「主体的・対話 的で深い学び」の視 点を示し、指導案書 式に反映させ、授業 改善に繋がったか。  ②ICT 機器を児童・ 生徒の理解促進のた めに活用できたか。	① 主体的・対話的で 深い学びを教育活動に 反映させる事につい て、肯定的評価は90% だった。 ② 障害に応じた ICT 機器の活用で肯定的評 価は74%だった。	① 研究で得られ た成果を次年度の 授業改善につなげ る。  ② 研修会は継続的 に進め、実践紹介 の機会を増やす 等、ICT 機器の活用 を促進する。	・「主体的・対話 的で深い学び」は 個別最適化の学び へと変化してい る。 ・iPadが3人に1 台は残念である。 ・一人1台あつて もどう活用するか が重要である。	① 主体的・対話的で深 い学びの研究は、各学部 で取組み、教育活動に反 映させる事ができた。 ② 視線入力プロジェク トを視覚入力プロジェク トを充足させ、肢体部門 でも応用した取組を 進める。iPad の利用で は、より授業で活用で きるよう研修を進め る。	① 2年間の研究は終了 し、新たな視点で、研 究をスタートさせる。 ②視線入力の取組は、 肢体部門中心に他の部 門でも応用した取組を 進める。iPad の利用で は、より授業で活用で きるよう研修を進め る。
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	○きめ細やかな児童・生徒 指導・支援の充実を図る。  ○教育活動全体で人権の視 点に立った学校づくりに取 組む。	①障害に応じた通 学支援を充実させ る。  ②障害特性に応じ た専門性の高い指 導を行い、人権を 尊重した指導や支 援を行う。	①医療的ケアを必 要とする児童・生 徒のスクールバス 等の通学支援を行 う。  ②専門性を高める ための研修を設定 する。さん付け呼 称に取り組む。	①障害に応じた通 学支援が行えたか。  ②障害理解のため の研修会で専門性 の向上がみられたか。 さん付け呼称を推 進できたか。	① 児童生徒に応じ た通学支援で肯定 的評価は90%だ った。 ② さん付け呼称で は、肯定的評価は 99%だった。障 害特性に応じた 専門性のある指 導で肯定的評価 は90%だった。	① 医療的ケア児 通学支援にさら に多くの事業所 と連携を図る。  ②専門性向上 のための研修 は継続的に設 定する。	・専門性の向上 と人権はつなが りがある。専門 性がないとパ ワーによる指 導が起きてく る。 ・スクールバス に医療的ケア が必要な時、 看護師が対 応となったの はとよい。	① 医療的ケア時 通学支援では、 福祉車両の利 用について大 きく前進した。 ② さん付け呼 称や人権に配 慮した指導で は、職員間で 高い評価だ った。職員間 で注意を注 意する関係性 の構築は課 題である。	① 医療的ケア児 通学支援は事 業所との連携 をさらに進 める。 ② 指導に関 する意見を 言い合える 職場環境構 築のため、 その日の振 り返りミー ティングの 設定や対応 に関するこ とを定期的 に学年会の 議題に入れ るなどを行 う。
3 進路指導・支援	○本人のニーズや適性 に応じた、自己選 択・自己決定の ための継続した 指導・支援に 取組む。 ○児童・生徒の 自立と社会参 加に向けた主 体的な取組を 支援する。	①コロナ禍にお ける、進路選 択のための情 報発信を充実 させる。 ②児童・生徒 一人ひとりの 自立・社会参 加に向けた学 習を充実させ る。	①事業所説明会 の実施方法、 進路冊子の情 報掲載方法を 工夫する。 ②人とかかわ る活動、人に 貢献する活動 を実施する。 高等部では成 人に関する学 習を取り入れ る。	①事業所説明会 等の情報発信 の仕方に、コ ロナ禍を踏ま えた工夫を取 り入れたか。 ②発達段階や 障害に応じた 自立・社会参 加の活動に取 り組めたか。	① コロナ禍にお ける工夫した情 報発信におい て、肯定的評 価は86%だ った。 ② 自立と社会参 加について肯 定的評価92% だった。	① 保護者に対 するお知らせ や使いやす い進路冊子の 検討を重ね る。 ②地域に出 て人と関わる ことはコ ロナ禍の影 響から活動 が制限され た。今後活 動を充実さ せる。	・特例子会社 でパソコン や英語の学 習に取組ん でいる。学 校でも取組 んでほしい。 ・地域で生 徒参加のイ ベント企画 をしている。 裾野を広 げたい。	① 進路に関する お知らせ、進 路だよりで の情報発信、 進路冊子に QRコードの 記載、事業 所MAPの見 やすさの工 夫等に取組 んだ。 ②学校生活 の中では自 己選択自己 決定を大切 に取組んだ。 高等部は、 18歳成人 を意識し、 消費者教 育「契約」 等の学習に 取組んだ。	① 事業所説明 会の開催方 法の見直し の中に、行 政との連携 の視点を入 れる。  ② 学部や学 年の状況に 応じて、地 域に出る活 動や地域に 貢献する活 動の機会を 増やす。
4 地域等との協働	○学校と地域の双方 で連携・協働 するための組 織的・継続的 な仕組みを構 築する。 ○地域におけ る特別支援 教育のセン ター的機能 としての取 組を推進し、 共生社会の 実現に向け 取組む。	①地域と連携 した防災シ ステムを構 築する。地 域連携業 務の整理 を行う。 ②地域の ニーズを 把握して、 ニーズに 基づいた 地域支 援を行 う。	①地域や企業 と連携し た防災イ ベント等 に取組む。 地域連 携業務は、 学部と協 働した取 組むを行 う。 ②学校 コンサル テーション の見直し を行う。	①地域や企業 と連携し 、防災シ ステムを 構築でき たか。地 域連携 業務の整 理精選 ができた か。 ②学校 コンサル テーショ ンの見直 しを進 め、有意 義な学 校支 援を行 えたか。	① 地域と連携 した防災の 取り組み では、肯 定的評価 は90%だ った。 ② 地域学校 のニーズ を理解し た支援 では、肯 定的評 価は84% だ った。	① 発災時の 活動の整 理を行う こと、地 域イベ ントへ の参加 を業務 として 取り組 む。 ②学校 や教員 のニー ズに応 えるた め、学 校コン サルテ ーショ ンと巡 回相談 を分け ず実 施す る。	・地域小 学校でセ ンター 的機能 を活用 させて もらっ てい る。 ・市の 防災課 とし て養護 学校と 多く の連 携をし てき がさ らに 進め てい きたい。	① 防災プロ ジェクト の発足 で、災 害時を 想定し た取組 の数々 を進 める こと がで きた。 ②学校 コンサル テーシ ョンと 見学研 修を分 けて学 校や教 員ニー ズに応 える ように した。	① 地域と 連携し た防災 の取組 は、プロ ジェク トを中 心に今 後も進 める。 地域 連携チ ーム は共生 社会 推進チ ーム として 専任を 配置し 強化を 図る。 ②巡回 相談と 学校 コンサル テーシ ョンを 分けず 、学校 コン サルの 視点 を入 れた 巡回 相談 とする。
5 学校管理 学校運営	○地域と一体とな った安全で 安心な学 校づくりに 取組む。 ○教員が子 どもたち と向き合 う時間を 確保する ために、 教員の働 き方改革 を推進す る。	①安全に 対するル ールを見 直しを進 める。 ②わか りやすく、 使いやす い教育環 境・職場 環境を構 築する。	①感染症 対応や緊 急時の対 応マニ ュアルを 各チ ームで 見直す。 ②校内 施設の 整理構 造化、 ICT化、 グル ープ業 務の精 選を行 う。	①状況に 応じた基 準やマニ ュアルの 整理が 行えた か。 ②校内 の整理 や構造 化、ICT 化を進 めるこ とが できた か。	① 安全に 対するル ールを見 直し では肯 定的評 価93% だ った。 ② 業務 の見直 しでは 肯定 的評 価80% だ った。 校内 施設 の整 理 では 肯定 的評 価は 77% だ った。	① 感染症 対策の 基準 見直し は今 後も 随時 行う。 ② 業務 の見 直し スリ ム化 する。 校内 の教 材整 と施 設を 使い やす く構 造化 を進 める。	・学校 が努力 して いる こと がよく わか る。達 成に こだ わる こと なく 努力 を続 けて いく こと でよ い の で ない か。	①保健 関係 マニ ュアル、 給食 関係 マニ ュアル を見 直し 簡略 化を行 った。 ②職員 用消 耗品 棚の 設置、 学部 倉庫 の整 理活 用、 会議 室前 掲示 板の 設置 活用、 訪問 の部 屋設 置等 をお こな った。	①各グル ープ が所 掌す るマ ニ ュ アル の見 直し を進 める。 ②学校 評価 運営 会議 で各 チ ーム の業 務ス リ ム 化目 標を 示し、 中間 と年 間の 2回、 結果 報告 する。

